

## SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	上口 真以	学校名	堺市立浜寺昭和小学校
実施学年	小4	教科	理科
単元名	地面を流れる水のゆくえ		

### 《学びを深めたいポイント》

水は地面の高いところから低いところに向かって流れることになんとか気づいてはいるが、実感としてまだ持つことができていない児童が多い。そのため、まずは身近なところにある水の流れを探す。蛇口から流れる水やウォータースライダー、流しそうめんなど子どもたちから意見が出るので、イラストを描いたりしてどれも高いところからの水が低いところに流れているのではないかという考えをもたせる。そこから雨の日の運動場の様子を動画や写真で見て、身近な地面にも水の流れがあることに気づかせたい。

### 《SKYMENU 活用のポイント》

児童にまずは、雨の日の運動場の写真を見せる。次に動画を見せ、水たまりになっている部分と川のように流れている地面の部分があることに気づかせる。水たまりの部分と川の流れのようにになっている部分は運動場のどのような場所に多いのか、発表ノートの画像合成を使用してクラスの考えを出した。

水たまり部分は赤い×印、川の流れ部分は水色の流れマークを使用。大きさが極端に大きくなったりしないように、あらかじめ印の大きさを調整して、資料置き場に入れておいた。

The screenshot shows the SKYMENU software interface. At the top is a blue toolbar with icons for navigation (back, forward, home), selection, grid, and image composition. The main workspace displays a floor plan of a school building. On the left is a vertical box labeled '西校舎' (West Building). On the right is a vertical box labeled '東校舎' (East Building). At the bottom is a large horizontal box labeled '本館' (Main Building). In the center, there is a yellow box labeled '砂場' (Sandpit). Several smaller boxes are scattered around, some containing '○○【施設名】' (Facility Name) and others containing 'バスケットゴール' (Basketball Hoop). A vertical list on the right side contains '○○【施設名】' and '○ ○ ○ 【施設名】'. The bottom right corner has a '発表ノート' (Presentation Note) button and a 'SKYMENU' logo.

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	①身近にある水の流れは、どんなところにあるのか意見を出し合う。		
展 開	<p>②雨の日の運動場の写真を見せ、その後動画も見せる。運動場には、水たまりになる部分と、川の流れのようになる部分があることに気づく。</p> <p>③動画や写真を見ながら、運動場のどの部分に水たまりがあるのか、川のように流れる部分があるのか、発表ノートに記入。</p> <p>④画像合成</p> <p>⑤結果から、運動場のどのような場所に水たまりが多いのか、川の流れが多いのか見つける。</p> <p>⑥地面の高さと関連させて、水たまりが運動場中央に多い理由や、川の流れのようなものが運動場の端に多い理由を考えさせる。</p>	<p>・発表ノートを「画像合成」で配布。</p> <p>・動画を見ながら資料置き場の赤い×印と水色の流れマークを置いていく。</p> <p>・ある程度置いたら、画像合成。 重なりが多い→そこに水たまりや流れが多い。 重なりが少ない→そこには水がない・少ない とわかる。</p>	<p>・実際に動画や写真を見て印を置いていくことで、自然と「真ん中のドッジボールコートのところには水たまりが多い」「はしの排水口の近くに川の流れが多い」と気づくことができる。</p> <p>・クラスみんなの意見を見ることができ、共有がスムーズ。</p> <p>・重なりや、色の濃さを見て一目で結果を見ることができる。</p>
ま と め	<p>⑦地面の傾きについての意見がでたので、それを実際に確かめに行くこと(次時のこと)を伝える。</p> <p>⑧ふりかえり</p>		



## 《実践を振り返って》

クラス全員の意見を重ね合わせることは、アナログでは難しいことです。

それを普段の発表ノートとほぼ同じ操作で行うことができるのは、教員にとっても子どもたちにとってもストレスなく取り組みやすい事例だと思います。

また、画像合成が進んでいくごとに自分の意見も含めてみんなの意見が重なっていく様子は「お〜!」「すげ〜!」と子どもの興味がひいていた。教師が「顔を上げてね」と言わなくても自然と子どもの顔が上がったのには驚きました。

これを「水たまり分布図」と名付け、これを基に次時に運動場に出て地面の傾きを調べに行った。画像合成で土地の高低の地図ができたようでした。

これがあれば、晴れの日でも水たまりの場所が何となくわかるので、一資料としても有効に感じました。